

平成 30 年度第 2 回 (一社) 日本生物物理学会理事会議事録

日時 : 2018 年 9 月 15 日 (土) 11:45~12:35

場所 : 岡山大学津島キャンパス一般教育棟 A32

出席者 : 理事総数 17 名 出席理事 17 名 (代表理事を含む)

代表理事 (会長)	神取 秀樹	理事 (副会長)	高田 彰二
理事 (副会長)	野地 博行	理事	石島 秋彦
理事	内橋 貴之	理事	大上 雅史
理事	須藤 雄気	理事	諏訪 牧子
理事	豊島 陽子	理事	中井 孝尚
理事	西坂 崇之	理事	林 重彦
理事	原田 慶恵	理事	坂内 博子
理事	光武 亜代理	理事	宮田 真人
理事	渡邊 宙志		

監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事 木寺 詔紀  
監事 七田 芳則

オブザーバー :

邦文誌編集委員長	佐甲 靖志
欧文誌編集委員長	石渡 信一
ホームページ編集委員長	宮田 真人 (理事と兼任)
平成 30 年度年会実行委員長	沈 建仁
平成 31 年度年会実行委員長	永井 健治
平成 32 年度年会実行委員長	大澤 研二
北海道支部 支部長	姚 関
東北支部 支部長	羽鳥 晋由
関東支部 支部長	由良 敬
中部支部 支部長	廣明 秀一
中国・四国支部 支部長	永野 真吾

陪席者 :

会長室 神瀬 麻里子  
学会事務局 向井 牧子  
議事録作成者 渡邊 宙志

## 審議および報告事項

### 報告事項：

1. 平成 30 年度年会実施状況（沈・須藤）：報1
  2. 平成 31 年度年会準備状況（永井）：報2
  3. 平成 32 年度年会準備状況（大澤）：報3
  4. 出版委員会報告（野地）：報4
    - 会誌編集委員会：総会スライド（佐甲）：報4-1
    - BPPB編集委員会報告：総会スライド（石渡）：報4-2
    - HP編集委員会：総会スライド（宮田）：報4-3
  5. 男女共同参画・若手支援委員会報告：総会スライド（高田）：報5
  6. 賞・助成金推進委員会報告（野地）：報6
  7. 地区報告
    - 北海道支部（姚）：報7-1
    - 東北支部（羽島）：
    - 関東支部（由良）
    - 中部支部（廣明）
- その他

### 審議事項：

1. テレビ会議について（神取）：議1
2. 生科連次期代表候補者の推薦依頼について（神取）：議2
3. シンポジウムでの非会員の取り扱いについて（光武）：議3

## 審議および報告事項

### 定足数の確認：

理事会の審議に先立ち、議長 神取 秀樹 氏より、定足数のご報告があった。

理事総数 17 名のうち出席者 17 名により過半数を超えた。

### 定款第三十二条（決議）

理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

### 報告事項：

#### 1. 平成 30 年度年会実施状況（沈・須藤）：報1

沈 建仁 氏・須藤 雄気 氏から年会実施状況について報告があった。

- ① 9 月 15 日 11:35 現在 当日参加が着実に増えている
- ② 前年度と比較して懇親会の参加費用を引き上げた
- ③ 総額 150 万円程度の黒字を計上できる見込み
- ④ 北海道地震被災者に対して、参加キャンセルの場合は参加費・懇親会の返還をアナウンス

#### 2. 平成 31 年度年会準備状況（永井）：報2

永井 健治 実行委員長が平成 31 年度の年会準備状況を報告した。

- ① 開催概要案が出来上がった
- ② 年会実行委員に池谷 裕二 氏（神経科学）が加わった
- ③ 年会実行委員組織を年会長、実行委員長、副実行委員長、プログラム委員長などの役職を設けて役割を明確化したいと提案し、理事会によって承認された
- ④ 企業からの要望を考慮し、ポスター発表と企業展示を同じ会場で実施することを決定した
- ⑤ 情報交換特別展示会場を設置した（企業から 5 万円／1 ブース当り）
- ⑥ コンセプトを科学のお祭りとしたポスターの素案が提示された。
- ⑦ 参加費と懇親会費の値上げを検討。神経科学会の価格を参考
  - 一般会員事前登録参加費を 7,000 円から 10,000 円へ値上げ
  - 一般会員は値上げするかわりに学生会員は値下げ
  - 余裕が出た分により旅費支援を行う予定
  - シニア会員価格を設定すべきという意見が出た
  - 分野別専門委員会にて価格案を出してもらうべきという意見が出た
  - 来年の理事会までに決定する必要
  - 参加費を値上げした分、参加困難な者のために旅費支援を実施する案が提唱された

### 3. 平成 32 年度（2020年度）年会準備状況（大澤） :報3

大澤 研二 氏より平成 32 年度（2020 年度）年会の準備状況について報告があった。

- ① 会場となる G メッセ群馬が 2020 年に完成予定。完成図案が披露された
- ② 全日程のポスターを常に掲示するという案が提示された
- ③ 群馬県が G メッセ群馬の運営を民間委託するが、委託先が未定のために会場使用料の見通しが立っていない
- ④ つくば年会の開催費を参考として群馬県に伝えてある
- ⑤ 2020 年 9 月 16～18 日での開催を予定

### 4. 出版委員会報告（野地） :報4

野地 博行 氏より出版委員会に関する報告があった。

- ① 欧文誌に関して
  - ① 2018 年の投稿数が伸び悩んでいる一方、欧文誌アクセプト数は伸びてきている
  - ② IF の取得のためには年間 20 報以上の掲載が必要
  - ③ 採択されたので科研費を利用して投稿を促す企画を推進する
    - 投稿依頼先への推薦を募集
    - 現在、大沢 文夫 氏と宮田 真人氏に投稿を依頼中
  - ④ HP に関しては金城 玲 氏を引き継ぎ宮田 真人 氏が策定を進めている。
    - BPPB のトップページのデザインが修正されていなかったために、業者に予算内での修正を交渉している
  - ⑤ 現在の BPPB 委員長である石渡 信一 氏 に代わる新委員長を選出する。
    - 内規によれば IF を取得するまで委員長は続投するという方針であったが、現在 IF 取得の前段階までたどり着いたので、委員長の交代を計画中
    - 来年の年末に切り替わることを想定し、次期編集委員長の選出を行う
    - 1 年間の引き継ぎの準備段階を設定し、2019 年 1 月から引き継ぎをスタートする。
    - 次回 12 月の理事会において、候補者に対する投票を実施して決定する
    - 編集委員長の選出手続き
      - I. 理事会から候補者を推薦する
      - II. 推薦された候補者に対して出版委員会で審議し 3 名を選出
      - III. 出版員会で選出した 3 名に対して理事会で審議し編集委員長を決定する
- ② 邦文誌に関して
  - ① 委員長である佐甲 靖志 氏 に代わる新委員長を選出する。
  - ② 任期切れで改選となる編集委員を選出する。

- 編集委員の選出プロセスは欧文誌の編集委員長選出と同じ（前項参照）

③ HP編集委員会：総会スライド（宮田）：報4-3

- ① HP 作成管理会社に掛け合って予算内で修正

5. 男女共同参画・若手支援委員会報告：総会スライド（高田）：報5

高田 彰二 氏より男女共同参画・若手支援委員会の報告があった。

- ① 女子中高生夏の学校に須藤 雄気 氏が参加
- ② 関西科学塾には「一家に1枚ポスター」を提供
- ③ 10月13日に学協会の連絡会シンポジウムが開催される。
- 高田 氏が代表として参加を予定している
- ④ 若手奨励賞・若手招待講演者賞の募集が行われた。
- 33名の応募があり7月に一次選考を実施し10名を選出
  - 二次選考において利益相反を考慮し、当初予定していた豊島 陽子 氏から石島 秋彦 氏に選考委員を交代した。
    - 理事会にて追認された
- ⑤ 学生発表賞に関して
- 合計80名の応募があり、今後予定されている口頭発表を審査する
- ⑥ 男女・若手共同参画企画に関して
- 例年2日目の企画シンポジウムを3日目に変更
  - 「若手世代間ギャップ」をテーマにして実施

6. 賞・助成金推薦委員会報告（野地）：報6

野地 博行氏より賞・助成金推薦委員会の報告があった。

- ① 第35回井上学术賞に小寺 哲幸 氏と坂内 博子 氏の推薦が承認された。
- ② 第27回木原記念財団学术賞に久原 篤 氏の推薦が決定された。

7. 地区報告

北海道支部（姚）：報7-1

姚 関 氏より北海道支部の活動についての収支報告があった。

8. 国際関係（野地）

野地 博行氏より国際関係に関する報告があった。

- ① アジア生物物理学連合の総会が（ABA）が今後オーストラリアで開催予定。
- 若手の支援プログラム（40歳以下）を募集している。
- ② 先の理事会の承認に則り国際関係に関するワーキンググループを作成した。  
主な役割は2020年のリオデジャネイロと2023年IUPABへの準備

- ① 野地 博行 氏
- ② 永井 健治 氏
- ③ 林 久美子 氏
- ④ 西坂 崇之 氏
- ⑤ 上村 想太郎 氏
- ⑥ 次期理事会の国際担当
- ⑦ 神取 秀樹 氏 (オブザーバー)
- ⑧ 原田 慶恵 氏 (オブザーバー)
- ⑨ 中村 春木 氏 (オブザーバー)
- ⑩ 永山 國昭 氏 (オブザーバー)

#### 審議事項：

##### 1. テレビ会議について (神取)：議1

4月の理事会でLifesize cloudを学会で導入することが提案されたがV-CUBEを導入することが神取 氏より提起され、承認された。

#### ■ V-CUBEの利点

- ① 会議内容を録音できるので、書記の負担を軽減できる
- ② 理事会以外の委員会等にも利用できる
- ③ 単価はLifesize cloudより高いが、長期的に見ればLifesize cloudよりも経費を削減できる見込み

##### 2. 生物科学学会連合 (神取)：議2

神取 秀樹 氏により次回の生物科学学会連合における代表選挙に関する議案が提起された。

- 各団体最大1名の時期代表候補者を推薦できる
- 生物物理学会としては特定の推薦者は出さず、候補が出揃った時点で理事会にて審議に諮り、投票先を選択することに決定した

##### 3. 年会シンポジウムの非会員の取り扱いについて (光武)：議3

光武 亜代理 氏より年会シンポジウムの非会員の取り扱いについての内規を理事会の原案として会員総会、分野別委員会で提示し意見を募る旨が示された。

#### ■ 原案

- ① シンポジウムのオーガナイザーは2名程度で、半数以上は本学会の会員とする
- ② シンポジウムの発表者の半数以上は本学会の会員であることとする
- ③ 非会員のオーガナイザーおよび発表者の参加費は無料とする

- ④ 非会員のオーガナイザーおよび発表者の懇親会非は一般会員と同等とする
- ⑤ 共催・合同シンポジウムに関しては、年会実行委員会の裁量とする。国際交流シンポジウムに関しては、理事会の裁量とする

### 連絡事項

#### 1. 次回理事会日程について（神取）

平成 30 年度第 3 回理事会

日時：2018 年 12 月 15 日（12:30～）

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 12:35 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成 30 年 9 月 15 日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成 30 年度第 2 回理事会

代表理事 神 取 秀 樹

監事 木 寺 詔 紀

監事 七 田 芳 則